

プログラム番号	06014
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	国立大学法人 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 環境社会医歯学系 専攻		
②学長名	鈴木 章夫		
③所在地	〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	学務部留学生課・専門職員	
	担当者氏名	佐藤 まき子	e-mailアドレス iss.adm@tmd.ac.jp
	電話・FAX番号	電話 03-5283-5856 FAX 03-5283-5891	
⑤ホームページURL	<a href="http://www.tmd.ac.jp/">http://www.tmd.ac.jp/</a>		
⑥大学院在学留学生数	196人(うち、国費留学生 86人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	環境社会医歯学系パブリックヘルスリーダー養成特別コース
②プログラムの形態	博士課程(4年間)
③実施研究科・専攻	大学院医歯学総合研究科 環境社会医歯学系専攻
	(所在地) 東京都文京区湯島1-5-45
④連携大学・研究科・専攻名	
⑤受入れ学生数	8人(うち研究留学生優先配置人数: 5人) (うち日本人学生数: 0人)
⑥担当教員数	合計 33人(うち専任: 22人、兼任: 0人、非常勤: 11人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 大学院医歯学総合研究科・研究科長
	研究科長名 大野 喜久郎

### 【3. プログラムの内容】

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科環境社会医歯学系（Division of Public Health）は、医学・医療、歯学・歯科医療を取り巻く時代や環境の変化に対応し、環境・社会・経済的状況との関連性および国際的視点から保健医療を捉え、人々の健康推進に貢献できる医歯学系総合領域の研究者および専門家を養成することを基本理念としています。

平成13年度から開設された留学生特別コース「環境社会医歯学系パブリックヘルスリーダー養成特別コース」には、アジア・太平洋地域の、主として公的機関に属する環境社会医歯学（Public Health:公衆衛生学）の専門家を受け入れ、各国で指導的役割を担う人材を育成してきました。世界でトップクラスの水準にあるわが国の研究・教育・技術をふまえ、各国のニーズに合わせて組み立てられた教育カリキュラムに基づいて教育を行い、将来の各国のリーダーとなる多くの優秀な留学生を集めてきました。

環境社会医歯学、保健医療政策の分野の各国のリーダーを育成することは、この分野の国際的な学術連携、パブリックヘルスの実務面での国際連携を担う人材を育成することであり、各国の公的機関との長期的な連携構築に貢献するものであります。留学生は本課程入学前にすでに公的機関や大学に職を持っており、本課程修了後は、出身機関の指導的なポジションに職を得ています。さらに、留学生の帰国後の実務と関連し、帰国後の所属機関と本学との間で研究や教育の連携をはかっています。

教育プログラムでは、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科環境社会医歯学系（Division of Public Health）で開講している健康推進医学、国際環境寄生虫病学、司法医学、国際保健医療協力学、健康推進歯学、スポーツ医歯学、政策科学、医療経済学、医歯総合教育開発学、研究開発学、医療情報システム学、協力講座として開講している社会精神保健学、分子疫学の科目から単位を履修できるようになっています。授業は、講義、演習、実習、論文指導のすべてを英語により行い、英文のシラバスおよび専用教材を用意しています。

4年間の課程のうち、1・2学年では、主に科目履修によりパブリックヘルスの基礎および技術の習得を行います。3・4学年では個別の研究テーマを設定し研究計画の立案、研究実施、論文作成に取り組み博士論文研究を行います。さらに博士論文の成果に基づき、実社会にフィードバックする研究から実践への応用について、各国・地域のニーズをふまえた指導を行っています。指導にあたっては、複数の教員ならびにティーチングアシスタントによる指導体制を整備し、留学生の個別の教育ニーズに対応した指導を実施しています。

留学生の日本における勉学一般および生活上の諸相談については、留学生センターが幅広く支援を行う体制にあります。留学生の研究指導担当教員は本課程入学当初から明確になっており、十分な研究活動が行える体制をとっています。東京医科歯科大学では、平成17-20年度の「医療グローバル化時代の教育アライアンス」事業の一環として、留学生の出身国の大学その他の公的機関、WHO（世界保健機関）との連携を重視しています。様々な国や地域の優秀な学生を受け入れて指導するための、教材の整備も行っています。

本特別コースは、複数の国の出身者が学ぶパブリックヘルスのリーダー養成の大学院コースとして、教育プログラムを組み立てています。研究留学生以外にも、各国の指導的役割を担う留学生もあわせて受け入れています。さらに、英語で行う講義、演習、実習、論文指導には、環境社会医歯学を専攻している日本人学生も参加しており、日本人学生と留学生の交流は、双方にとり、他では得られない場を提供しています。留学生の受け入れは、大学間協定に基づくもの他、種々の国際交流、研究交流に基づくもの、国際機関を通じた交流に基づくものなど、東京医科歯科大学の多彩な国際交流実績に基づく多様なチャンネルを通して学生を受け入れています。

平成17年9月に最初の修了生を出して以来、修了生はいずれも公的機関、大学の指導的ポジションにつき、パブリックヘルスリーダーとして活躍するとともに、出身国と本学との共同研究、教育連携などにおいて中核的役割を果たしています。本学と海外の高等教育機関ならびに国際機関などとの連携を活かし、国際的に活躍するパブリックヘルスのリーダーが、数多く育つことを期待しています。